

令和8年度シラバス（保健体育）

学番22 県立阿賀黎明高等学校

教科（科目）	保健体育（保健）	単位数	1単位	学年（コース）	2学年
使用教科書	現代高等保健体育 改訂版				
副教材等	現代高等保健体育ノート 改訂版				

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	<p>～卒業までにこのような資質・能力を育みます～</p> <p>①自分と社会の関係性を見つめ、他と協働しながら取り組む力を育成します。</p> <p>②複雑化する社会や地域に関心を持ち、様々な考えを受け入れる力を育成します。</p> <p>③好奇心をもって自ら学び続け本質を見極めようとする姿勢と力を育成します。</p>
カリキュラム・ポリシー	<p>～上記の資質・能力を育成するため、このような教育活動を行います～</p> <p>①あらゆる進路に対応できるカリキュラムを設定します。</p> <p>②少人数制により個々にあったきめ細かな指導を行います。</p> <p>③地域と連携し、地域資源を活用した教育活動を行います。</p> <p>④生徒が興味をもった題材を地域の大人が伴走しながら探究するプロジェクト学習に取り組みます。</p>

2 目標

<p>保健の見方・考え方を働かせ、合理的、計画的な解決に向けた学習過程を通して、生涯を通じて人々が自らの健康や環境を適切に管理し、改善していくための資質・能力を次のとおり育成する。</p> <p>(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。</p> <p>(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。</p> <p>(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。</p>
--

3 指導計画

月	単元	教材	学習活動（指導内容）	評価方法	時間		
4	三 単 元	01ライフステージと健康	・ライフステージと健康の関連について説明できるようにする。 ・各ライフステージで活用できる社会からの支援について例をあげることができるようになる。 ※将来の人生設計について考えよう。意見交換。	(1) (2) (3)	1		
		02思春期と健康	・思春期における体の変化を、女性と男性に分けて説明できるようにする。 ・思春期の心の発達にかかわって起こる問題について例をあげることができるようになる。 ※上記内容を少グループで共有・発表など		1		
		03性意識と性行動の選択	・性意識の男女差について例をあげて説明できるようにする。 ・性情報が性行動の選択に影響を及ぼす例をあげることができるようになる。 ※上記内容を少グループで共有・発表など		1		
5	生涯 を通 じる 健康	04妊娠・出産と健康	・妊娠・出産の過程における健康課題について説明できるようにする。 ・妊娠・出産期に活用できる母子保健サービスの例をあげることができるようになる。 ※上記内容を少グループで共有・発表など		(1) (2) (3)	4	
		05避妊法と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と適切な避妊法について説明できるようにする。 ・人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など				
6		06結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活の関係について説明できるようにする。 ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動をあげることができるようになる。 ※上記内容を少グループで共有・発表など			(1) (2)	1
		07中高年期と健康	・加齢にともなう心身の変化について例をあげて説明できるようにする。 ・高齢社会に必要な社会的な取り組みについて例をあげて説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など				
1学期期末考査					1		
7		08働くことと健康	・働くことの意義と健康とのかわりについて説明できるようにする。 ・働き方や働く人の健康問題の変化について説明できるようにする。 ※「働く」ことについてディスカッション	(1) (2) (3)	2		
		09労働災害と健康	・労働災害の種類とその原因について例をあげて説明できるようにする。 ・労働災害を防止するために必要なことをあげることができるようになる。 ※上記内容を少グループで共有・発表など		2		

8・9	四 単 元	10健康的な職業生活	・職場がおこなう健康に関する取り組みについて例をあげて説明できるようにする。 ・余暇を積極的にとることの意義について説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など	(1) (2) (3)	2
		01大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響について例をあげて説明できるようにする。 ・大気にかかわる地球規模の健康問題について例をあげて説明できるようにする。 ※再生可能エネルギーについて調べよう。発表。		7
10・11	02水質汚濁、土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染の原因とその健康影響を説明できるようにする。 ・大気、水、土壌にまたがる複合的な環境汚染の発生のしくみについて説明できるようにする。 ※再生可能エネルギーについて調べよう。発表。			
	03環境と健康にかかわる対策	・環境汚染による健康被害を防ぐ方法について説明できるようにする。 ・産業廃棄物の処理について説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など			
	04ごみの処理と上下水道の整備	・ごみの処理の現状やその課題について説明できるようにする。 ・上下水道のしくみと健康にかかわる課題を説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など			
		2学期期末考査		(1) (2)	1
12・1	健 康 を 支 え る 環 境 づ く り	05食品の安全性	・食品の安全性と健康とのかかわりについて説明できるようにする。 ・食品の安全性に関する今日の課題について説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など	(1) (2) (3)	4
		06食品衛生にかかわる活動	・食品の安全性を確保するための行政や製造者の役割について説明できるようにする。 ・食品の安全性を確保するための個人の役割について説明できるようにする。 ※家でできるHACCP「ポテトサラダ」をつくろう。発表。		
2		07保健サービスとその活用	・保健行政の役割について例をあげて説明できるようにする。 ・保健サービスの活用を例をあげることができるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など	(1) (2) (3)	2
		08医療サービスとその活用	・わが国における医療保険のしくみについて説明できるようにする。 ・さまざまな医療機関の役割について説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など		3
3		09医薬品の制度とその活用	・医薬品の正しい使用法について説明できるようにする。 ・医薬品の安全性を守る取り組みについて例を挙げて説明できるようにする。 ※ジェネリック医薬品について意見交換。		
		10さまざまな保健活動や社会的対策	・国際機関・民間機関などの保健活動について例をあげて説明できるようにする。 ・行政機関による社会的対策について例をあげて説明できるようにする。 ※上記内容を少グループで共有・発表など	2	
		学年末考査		(1) (2)	1

「1単位時間は50分」

35

4 評価の観点及びその趣旨と評価方法

観点	(1) 知識・技能 (40%)	(2) 思考・判断・表現 (30%)	(3) 主体的に学習に取り組む態度 (30%)
趣旨	個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めているとともに、技能を身に付けている。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断しているとともに、目的や状況に応じて他者に伝えている。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。
評価方法	・小テストや定期考査の評価	・学習ノート記入状況での評価 ・授業での発表 ・プレゼンテーション	・授業への参加(発言等) ・授業での取り組み(授業態度) ・課題・レポートの取り組み

5 担当者からの一言

保健の内容は生活に密着したトピックスがたくさんあります。自らの健康、家族の健康、社会の健康について深く考えてみましょう。